

エゾシカ A 地区（ルシヤ地区、及び、閉鎖中の道道知床公園線）における ロードセンサス結果について

山中正実（知床博物館）

- ・エゾシカ A 地区のルシヤ地区では、知床博物館・北大獣医学部・知床財団の共同で、同地区に極めて高い密度で生息するヒグマの社会構造や移動分散に関する調査が行われている。これらの調査の往復時に、付随的にエゾシカの日撃を記録してきている。ここでは、6/24 の平成 25 年度第 1 回シカワーキング会議で報告した平成 24（2012）年 7～11 月と平成 25（2013）年 6 月中旬までの記録に加えて、その後行った 9 月までの調査結果を加えて取りまとめた。
- ・調査範囲は知床保安林道ポンプタ川右岸～テッパンベツ川右岸知床丸共同漁業部番屋までの海岸沿いの道路、延長約 3.0 km 区間について、低速で車輛を走らせ、エゾシカの群を発見した際は、発見場所と群の構成（性別、成獣と子の別、オスの角のポイント数）を記録した。
- ・2013 年の 5 月までのデータでは、子は前年生まれの 0 才を「子」として扱った。2013 年 6 月以降は新生子を「子」として扱った。
- ・ルシヤ地区と同様に、平成 25 年（2013）6 月は、冬期閉鎖中の道道知床公園線知床五湖ゲート～知床保安林道ポンプタ川右岸（21.1 km）についてもロードセンサスを行った。第 1 回シカワーキング会議で報告した 3 回の調査に加えて、7/1 の道道開通前に 3 回の調査を行った。

<ルシヤ地区：知床保安林道ポンプタ川右岸～テッパンベツ川右岸知床丸共同漁業部>

- ・2012 年は発見頭数は 7 月が最多であり（平均 49 頭、最大 110 頭）、秋期に向けて漸減していった。
- ・2013 年には 5 月が平均 136 頭、最大 152 頭、6 月が平均 81 頭、最大 195 頭であり、前年秋より大幅に増加した。しかし、その後、大幅に発見数は低下し、2012 年秋とほぼ同レベルになった。
- ・最大確認頭数は平成 25 年（2013）6 月 5 日の 195 頭（65 頭/km）で、うち 172 頭（88.8%）がメス成獣（1 歳以上）であった。
- ・群の構成はメス成獣が多く、全発見数の 77.4% を占めた。100 ♀比は 2012 年は 7 月が 1.4 と極端に低かったが、8～11 月は 11～13 頭で推移した。しかし、越冬後の 2013 年春 5 月には 1.1 頭/100 ♀と大きく低下した。その後、出産期をへて 8 月には 11.6 頭/100 ♀となった。
- ・100 ♀比が全体に低い上に、越冬後に大きく低下しているにもかかわらず、春期に大幅に発見頭数が増加している現象は、他地域からの移動があることを示唆していると思われる。
- ・群サイズは、SS 対象となる 3 頭以下の群（2012 年基準）が 40～60% を占めた。春期には大き

な群がみられる傾向があった。5～6月は発見数は多いものの、6頭以上の群が44～53%を占め、特に10頭以上の群が多かった。7～8月はシャープシューティングに適した3頭以下の群が55～60%を占めたが、平均発見頭数は30頭台で5～6月より大幅に減少した。

表1. 2012年7月から2013年9月までのルシャ地区におけるエゾシカの発見頭数と群サイズ。

期間	平均 発見頭数	最大 発見頭数	群サイズ比率					発見 群数	100♀比	調査 回数
			単独	2-3	4-5	6-9	≥10			
2012 7月	49	110	15.9%	36.5%	15.9%	14.3%	17.5%	63	1.4	7
8月	25	63	28.6%	23.8%	19.0%	0.0%	28.6%	21	11.0	5
9月	44	75	20.0%	26.7%	20.0%	13.3%	20.0%	45	11.0	6
10-11月	18	46	24.1%	37.9%	20.7%	13.8%	3.4%	29	13.6	6
2013 5月	136	152	20.4%	20.4%	5.6%	25.9%	27.8%	54	1.1	3
6月	81	195	16.7%	29.0%	10.9%	18.8%	24.6%	138	0.7	11
7月	39	59	26.8%	28.6%	12.5%	25.0%	7.1%	56	3.0	6
8月	34	57	18.4%	42.1%	15.8%	10.5%	13.2%	38	11.6	5
9月	36	47	12.5%	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%	16	9.4	2

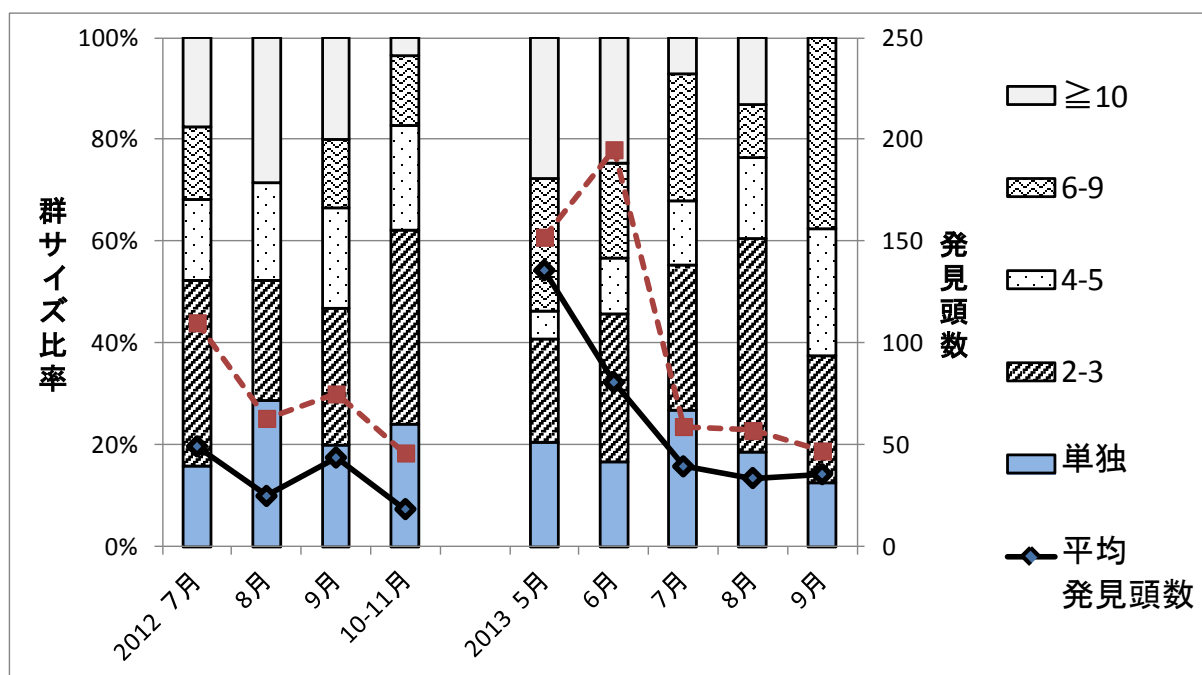


図1. 2012年7月から2013年9月までのルシャ地区におけるエゾシカの発見頭数と群サイズ。

<道道知床公園線：知床五湖ゲート～知床保安林道ポンプタ川右岸>

・結果は以下の通り。

◎発見頭数：最大 34 頭 (1.6/km)、平均 19 頭 (0.9 頭/km)

◎発見メス成獣：最大 31 頭 (91.2%)、平均 16.3 頭 (86.0%)

◎全発見数の 91%はシャープシューティングに適した 3 頭以下の群であった。

表 2. 2013 年 6 月の道道知床公園線におけるエゾシカの発見頭数と群構成。

調査期日	発見頭数					発見数/km
	♀	Fawn	♂	UK	計	
2013/6/9	31	0	3	0	34	1.61
2013/6/10	24	0	3	0	27	1.28
2013/6/11	13	1	2	0	16	0.76
2013/6/27	13	1	1	0	15	0.71
2013/6/29	10	0	2	0	12	0.57
2013/6/30	7	0	1	2	10	0.47
平均	16.3	0.3	2.0	0.3	19.0	0.9

注1) 子は出産期途中につき、7月以降増加する。

注2) 7/1から道道公園線が開通したため調査中止。

表 3. 2013 年 6 月の道道知床公園線におけるエゾシカの群サイズ。

調査期日	群サイズカテゴリー別発見群数					総群数
	単独	2-3	4-5	6-9	≥10	
2013/6/9	7	8	2	0	0	17
2013/6/10	11	4	0	1	0	16
2013/6/11	8	2	1	0	0	11
2013/6/27	2	4	1	0	0	7
2013/6/29	6	1	1	0	0	8
2013/6/30	8	1	0	0	0	9
カテゴリー別比率	59.1%	31.8%	6.8%	2.3%	0.0%	

注1) SS対象の群サイズは、2012年基準では3頭以下。

注2) 調査時間は、17:00～19:00ころ。